



アイ・ステージNews

2024.3発行

能登半島地震により犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げるとともに、被災された皆さま、ご家族、関係者の皆さまにお見舞い申し上げます。改めて地震における備えについて、皆様にお伝えさせて頂きたいと思っております。

～経営理念～

集う人の満足と幸せを追求し
地域と社会に貢献します

株式会社 アイ・ステージ

「地震保険」のお話 もしもの時には、＜2つの備え＞があると安心です。

＜1つ目の備え＞ 避難時の備え



＜2つ目の備え＞ 経済的な備え



地震保険

こんな時、地震保険が補償してくれます。地震保険の保険金だけでは、必ずしも元通りの家を再建できませんが、被災後の当面の生活を支えることができます。



地震保険って何？

1

地震・噴火・津波

地震保険では、地震、噴火またはこれらによる津波を原因とする損害(火災・損壊・埋没・流失)に対して保険金をお支払いします。

お支払い例

地震により火災が発生し家が焼失した



地震により家が倒壊した



津波により家が流された



＜保険金をお支払いできない主な場合＞

■故意もしくは重大な過失または法令違反による損害 ■地震などの際における紛失または盗難による損害
■戦争、内乱などによる損害 ■地震などの発生日の翌日から起算して10日経過後に生じた損害



* 社員退社時の携帯電話の持ち帰りについて

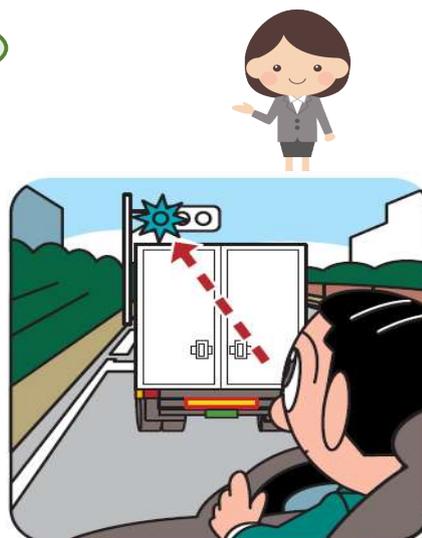
個人情報漏洩防止の観点から、退社時に会社携帯の自宅への持ち帰りを控えさせて頂いております。勤務時間外の着信につきましては、翌営業日のご連絡となる可能性がある旨、ご了承ください。



交差点における「見えない危険」ご存じですか？

交差点接近時に先行車を作る「見えない危険」

交差点接近時にバスやトラックなどの大型車に追従して走行すると、前方の見通しが悪くなり、交差点の信号が確認できないことがあります。その状態で走行すると、赤信号で交差点に進入してしまうおそれがあります。できるだけ大型車に追従して走行するのは避けるのが望ましいのですが、やむを得ず大型車に追従して走行する場合は、前方の信号が確認できるくらいの車間距離をとり、前方の視界の確保するようにしましょう。



右折時に対向車を作る「見えない危険」

右折時に対向右折車がいて、その後方が死角となり、対向車線の状況が確認しにくい状況となります。特に対向右折車が大型車の場合には死角が大きくなり、死角部分から直進してくる二輪車などを見落とす危険が高まります。対向車線の状況が確認しにくいときは、一気に右折するのではなく、徐々に進行して対向車線の状況が見えるところで一時停止して、対向車の有無を確認しましょう。



スタッフ紹介



モモザワ ミ

桃澤 美穂

アイ・ステージに入社して6年目の桃澤美穂です。最近私が心掛けていることを紹介したいと思います。皆さんは、言葉の力を信じますか？人間の脳は否定語を理解できないと言われていました。

例えば『遅刻しない』は『遅刻する』+『しない』となり、脳は『遅刻する』と理解してしまいます。なので肯定的な言葉に直していくことで行動に変化が現れるそうです。『遅刻しない』⇒『時間の余裕を持つ』

『ミスしない』⇒『丁寧にやろう』等々

肯定的な言葉で溢れる毎日、素敵ですね。



* アイ・ステージNewsは、今後ホームページでも掲載いたします。



株式会社 アイ・ステージ

碧南オフィス 〒447-0871

愛知県碧南市向陽町3-80 1F

TEL 0566-41-3573

FAX 0566-48-5850

URL <https://www.i-stage.co.jp>

e-mail info@i-stage.co.jp

岡崎オフィス 〒444-0053

愛知県岡崎市板屋町177-1

TEL 0564-64-2912

FAX 0564-64-2913

